

## 【 3月合宿 】

今回合宿の最多得点は2名(江島、毛塚)が2得点をあげました。得点はその人ひとりだけでとったものではなくみんなの力でとったものですが、江島はパスカットやトラップをたえず狙えておりセカンドボールの予測もでき、奪った後おもいきりよくシュートが打てるようになっています。毛塚は運動量をいかしゴール前への2列目からの思い切った飛び出しができています。どこのポジションの選手もまずゴールを狙うことをプレー選択の一つに考えてください。千葉はクロスに対しての判断がよくなっており、設楽はディフェンス面でボールを奪うのと、奪った後の判断がよくなっており、船越はオーバーラップのタイミングがよかったですし、オーバーラップや動いたあとの空いたスペースをディフェンスの細見、土屋やボランチの竹内、渡邊がバランスを考えながら埋めることができていました。代表合宿に招集されると指示されたことをしようと気にしすぎて自分のいいところを消してしまいがちですが、いいところを出しながらチームにあわせていけるようになってほしいです。特に若手の吉野、仲井、藤村、大西、松本、守屋はもっと思いっきりのいいプレーを期待します。トライしないこと自体が失敗で、できないことをできるようになるのが練習です。失敗なしに上達はしませんので試合でもどんどん恥ずかしがらず(失敗することを恐れずに)に挑戦してください。しかし同じミスは何度も繰り返さない様に(単純なミスはしないように厳しい環境をみんなで緊張感をもって作って)、何が原因で失敗したかよく考えて修正してください。このチームで絶対にレギュラーになるという高いモチベーションで練習に臨んでほしいのです。「考えて走る」とは?何を考えるのか。攻撃の時はどうすれば得点できる/味方が有利になるのか→ボールがくる前に2つ以上のアイデアを考えておき周りをみておく→普段の練習から何のためのトレーニングなのかを考えて行い、自分の考えやプレーを味方やコーチと話し合いお互いを理解していきます。自由と好き勝手は違います。動いていい時もあれば止まってプレーした方がいい時もありますし、次のプレーのことを考えてどちらがいいのかを判断するのです。アイデアは上手い人のプレーをテレビやスタジアムで試合をみて学んでいってください。3月の合宿は試合の間にミーティングの時間を多くとりました。いろんなタイプの選手がいます。周りからいろいろと言われるのは好きじゃなく自分からも聞きにいかないタイプ、見て学んでいくタイプ、どんどん質問し聞いていくタイプなどありますが、結局いくら人からアドバイスされても自分が意識しなければ何にもなりません。逆に自分が意識していれば、人に言われなくても取り組んでいけます。ピッチの外でも選手、スタッフ協力しあって誰かにと言われる前に考えて動くことを普段から意識してやっていきましょう。自信が過信にならないように、いい意味で自信を持った上で謙虚にやっていきましょう。